



こんにちは

# 村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

'22. 12.9  
No380

## 【一般質問より】 補聴器購入に補助制度を…900人近くが生活に支障。

町の高齢化率（65歳以上の人口の割合）は36%超え。年を取るにつれて聞えが悪くなるのは自然の摂理。聞えが悪くなると、「人の話がよくわからない」「何回も聞き返すので、迷惑がられる」などと思って、人の集まる場所は敬遠しがちになります。

「認知症の8割は加齢性難聴が原因」という調査結果もあります。

軽い症状の段階から補聴器などで対策すれば症状が進まずに済み社会生活をこれまで通り送ることができます。

障がい者手帳を取得した聴覚障害者には補聴器購入の補助制度がありますが、手帳の取得ではなく、耳鼻咽喉科の医師による「補聴器が必要」との診断書があれば、補聴器購入補助の対象になるよう、制度を作るべきと質問。

Q、難聴者は町内に何人くらいいらっしゃるか？早期発見の手立てはどのようか。

A、調査をしていないので、不明。

介護保険計画を立てる折、アンケートをやるが、その中に「聞こえ」についての設問が今回から設けられ、現在集計中。

東京都港区の「聞えのセルフチェック」を紹介。自分で聞えの状況をつかめるようになっており、チェック項目が多いと耳鼻科の受診が必要で、補聴器取得へとすすめます。

港区医師会の調査によれば、65歳以上の78.9%が難聴。

16%…仕事や生活に支障がある

19%…仕事や生活をあきらめた と回答。

立科町に当てはめると 65歳以上 2547人

16%…408人、19%…484人

合わせて900人近くが仕事や日常生活に支障があることが予測されます。

視覚障がい者（21人）の内、65歳以上14人。特に必要では。早期に補助制度を。

### 【補聴器購入の補助制度】

\*南牧村 2021.4月より、最初5万円、今年から上限10万円。18歳以上。領収書を持参、3分の2以内の補助。

\*東京都港区 上限 13.7万円…全国トップ。  
60歳以上、所得制限なし。販売店に直接支払い、負担軽減。買った後も補聴器相談医や認定補聴器技能者に相談・調整ができる。



「甘  
な  
く  
し  
柿  
れ」

今年は柿が大豊作。我が家の田にカラスが種を埋めてくれた柿の木にもびっしり実がなりました。

渋柿なのでさっそく皮をむいて10個単位で紐で吊るして軒下に。2週間もすると、外側が乾燥し色も変わって柔らかくなります。種離れが良くなるように実をもみもみ。もうしばらく風に当てておくと、白い花が咲きます。我慢できずに1つ二つと口の中に。乾燥した冷たい風が渋い柿を甘い柿に変えてくれます。



霜の花

今週のパチリ！

とても冷え込んだ日の朝、畑の葉っぱにうっすらと細かな霜が一面に張り付いていました。浅間山が雪化粧し、凜と澄み切った空気に気持ちも引き締まります。青い空、白い山並み。いよいよ本格的な冬が始まりました。

野沢菜を漬け込み、今年は大根も漬けようと干しています。甘酢と醤油漬けにしようかと考えて居ます。ご近所さんは漬物名人ばかり。どんな味に仕上がるのか。

# 【12月議会一般質問】農産物直売所の充実を

## 菜ないろ畑：駐車場の拡張と入り口の整備

### 農ん喜村：野菜置き場にクーラー設置・売り場面積拡大を



「観光と農業の町」立科の元気を発信する農産物直売所。私も柿などを出荷する生産者の一員として、両直売所を利用しています。その中から見えてきた課題について問いました。利用者のみなさんからもお声を頂き質問に活かしました。

#### 菜ないろ畑

登録生産者は340人。

駐車場が狭く、接触事故が絶えないため、敬遠して利用をためらう人が続出。

そのため、かつては1億円程あった売り上げが現在では5600万円に。直売所を後ろに下げて、駐車場のスペースを確保すること、県道からの入り口を拡げて、利用しやすくすることが必要ではないか。と質問

町は「事業所が考えること」との立場です。

町の農業者さんが生きがいと生活の手段として重要な直売所。町も積極的に支援して、利用しやすい直売所に改善すべきではないかと提案しました。

農ん喜村の改修については、特に定めはなく、町と協議することとしています。

特に冷暖完備の施設に建て替えることは猛暑の続く今日にあって、大至急必要です。町は「指定管理が対応すること」との回答に終始しました。

#### 農ん喜村

登録組合員は240人

町の指定管理を受けて、農畜産物の直売・お土産品・手芸品・特産物の加工・販売・食堂業務

売り上げ、9,000万円 前年比114%の売り上げ。

5000食の牛肉弁当販売と大健闘。

課題として

- 1, 農産物販売エリアに冷暖房設備がなく、農産物の傷みが激しい。
- 2, 売り場面積が狭い。今ある直売エリアの線を東に拡張するなど更なる増築が必要ではないか。
- 3, 駐車場が狭く、大型バスなどが入りきらない。更なる増設を。
- 4, 喫茶コーナー前の木製デッキのエリアに屋根の設置を。
- 5, 更なる魅力アップのための提案。足湯の設置・ドッグランの設置を

同じ指定管理でも、スキー場の事業者には至れり尽くせり。「『観光と農業の町』という割には里の農業振興には冷たい」との声が。

## 佐久ピースアクション連続上映会

12.10(土)①13:30 ②17:00 佐久教育会館

12.11(日)①13:00 ②15:00 駒の里ふれあいセンター

原則無料・カンパ歓迎！

ドキュメンタリー

### 「教育と愛国」

12月10日(土)9:30～

立科中央公民館

協力券 500円

「知ってほしい、今教科書で何が起きているのかを」  
どう考えたらいいのか、語り合いませんか。  
ぜひご覧ください。

予告

新春たてしなシネマ

2023.1.28(土)

立科町中央公民館

「校庭に東風吹いて」

沢口靖子主演

主催：たてしな良い映画を観る会

子育て真っ最中の方に、本の未来を心配する方も、ぜひご覧ください。

【申込・お問い合わせ】

9条を守る立科の会

金光(56)1952(18:00以降)

村田090-9144-8534